

松仙園地区の課題



1990北海道夏山ガイド②より

➔



2015.9 松仙園登山口



2013.7 松仙園登山道



2015.9 松仙園登山道

登山道管理者不在：通行止（2006～）

松仙園地区の課題



大雪山グレード：非適用区間（2015.6～）



湿原散策・紅葉の名所
1990北海道夏山ガイド②より



山岳関係者からの再開要望
(写真：情報交換会2015春)

松仙園地区の課題



登山道 特に脆弱な自然である湿原を保全するための施設がない



仮に刈払いができて利用者を通すことによる自然へのインパクトが大

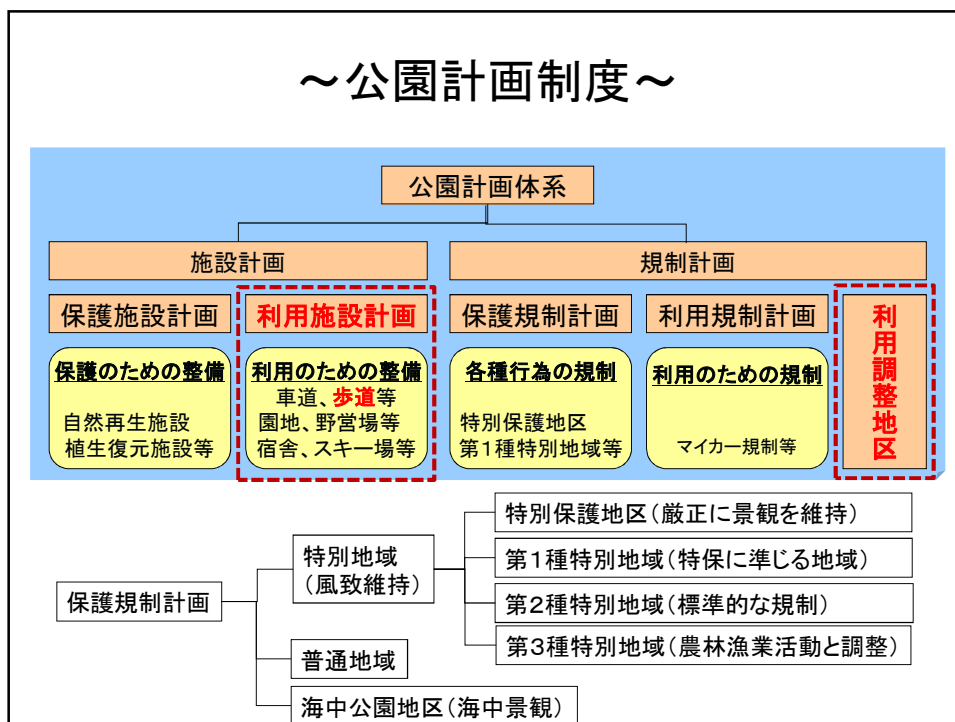
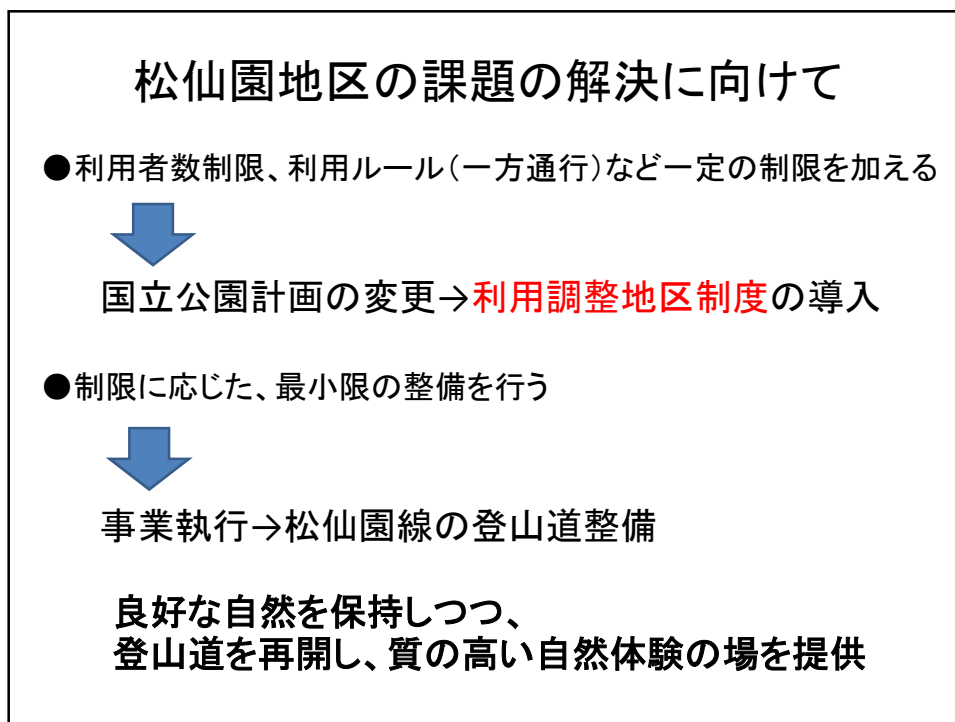
松仙園地区の課題の解決に向けて

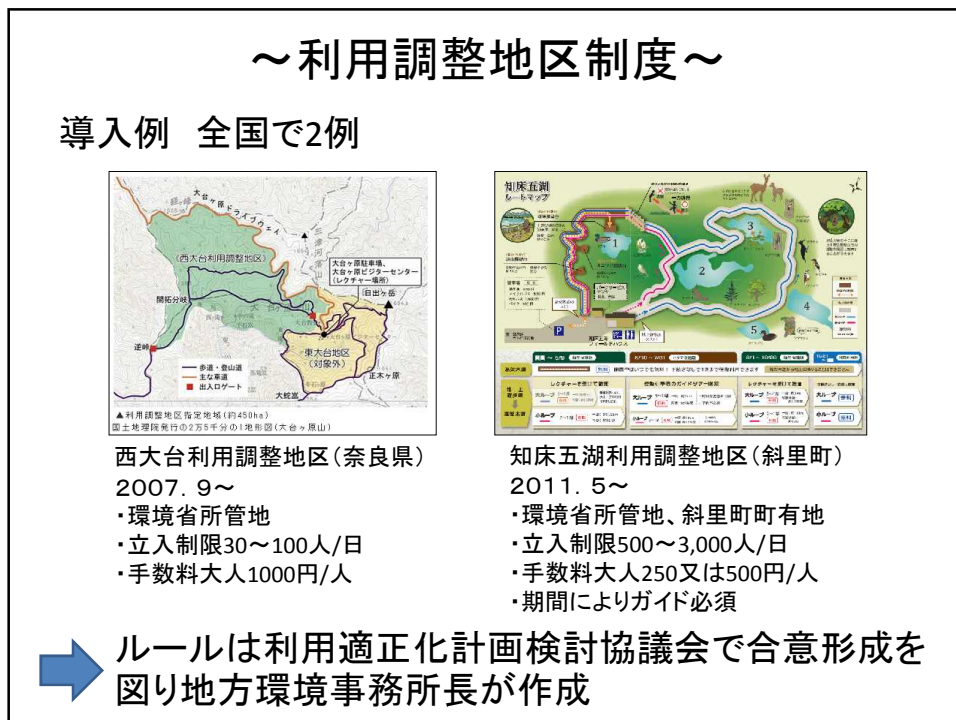
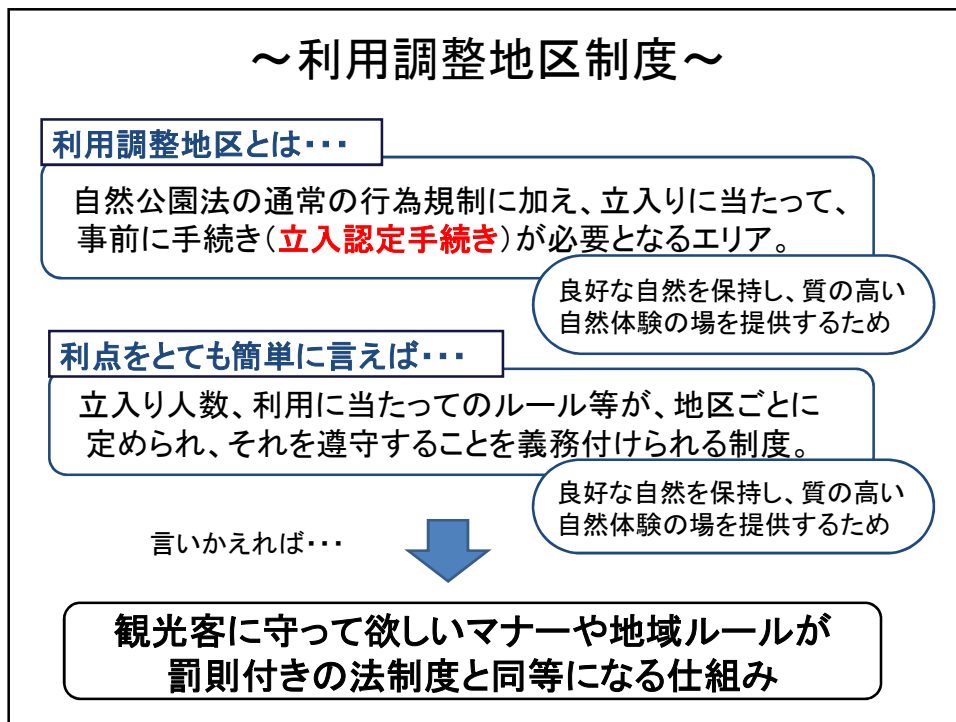
- 登山道再開のためには登山道の定期的な刈払い等管理が必要
- 刈払いのみでは、湿原等脆弱な自然へのインパクトが大
- 木道等の整備は、自由利用を前提とした整備では規模が大きく
予算的負担、自然へのインパクトも大きい



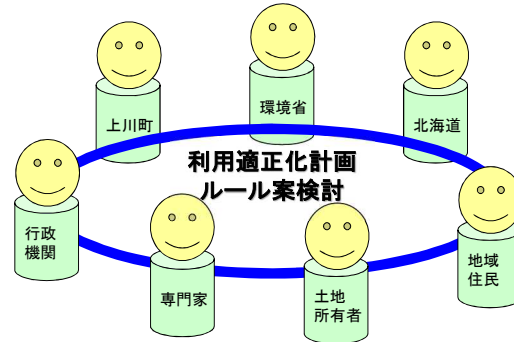
- 利用者数制限、利用ルール(一方通行)など一定の制限を加える
- 制限に応じた、最小限の整備を行う

**良好な自然を保持しつつ、
登山道を再開し、質の高い自然体験の場を提供**





～利用適正化計画検討協議会～



検討が想定されるルール

- 規制期間(春スキーシーズンを除く期間7～10月)
- 立入制限人数(1日●●人)
- 一方通行(登り利用のみ)
- グループでのクマ鈴等の携行必須 など

～立入認定手続きのフロー案～

1. 立入希望者は指定認定機関で認定申請書の用紙を入手し、用紙に記載の立入りルールを確認
- ↓
2. 認定申請書に氏名・住所を記載し、指定認定機関に認定申請書を提出し、認定手数料を支払う
- ↓
3. 指定認定機関より認定証を申請者に発行
- ↓
4. 松仙園登山口ゲートより入山

指定認定機関の制度により、環境省以外の者に認定手続きを代行させることが可能。ルールを遵守できる者に対して、立入認定証を発行する。